

対象年度		令和 6年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		本場結城紬振興事業						予算事業名		本場結城紬振興事業費			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	伝統工芸本場結城紬技術習得奨励金補助金 交付要項（単年度要項）				
			07	01	03	1103	経常経費						
総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう 地域資源を活用したにぎわいと交流の促進 伝統産業の振興						事業の区分	主要事業 重点事業					
							担当課係等	商工観光課 商工振興係					
	事業期間						継続（ 年度～ 年度）						
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
本場結城紬振興を目的に、本市の地域資源である「結城紬」を活用し、きもの文化及び結城紬の普及促進を図り、観光施策と結び付け、結城紬産地全体として活性化を図る。						生活様式の変化などの影響により、結城紬の生産数は減少し続けている。平成27年度より結城紬きもの貸出事業を開始した。栃木県小山市でも平成28年度より駅前クラフト館にて同事業を実施している。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】						【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
①駅前の観光物産センター及び伝統工芸館において、結城紬の地機織り等の実演を茨城県本場結城紬織物協同組合へ委託し実施する。 ②市民や観光客を対象に、結城紬きもの着心地体験事業をゆうき音楽会へ委託し実施する。 ③①で製作された反物の仕立て及び②で使用した着物のクリーニング等着物の管理を行う。 ④各種イベントにおいて、結城紬や本市のPRを行う。 ⑤結城紬各団体等に対し、支援を行うことで、製品の販路開拓及び産地の安定を図る。						市民・観光客 結城紬関連組合 【事業をとりまく環境の変化】 平成27年度に結城紬きもの貸出事業が本格的に実施され、ゆうき紬着付け処「着楽」を駅前情報センターテナントに設置した。 平成28年度には、地方創生加速化交付金を活用した結城紬ブランディング事業により、結城市伝統工芸館をリニューアルし、結城紬を地域資源として活用した事業を展開した。							
【令和 6年度 事業内容】			【令和 7年度 事業内容】			【令和 8年度 事業内容】							
①結城紬機織り実演事業及び結城紬きもの着心地体験事業 ②各種イベントへ参加し、結城紬着心地体験を通じて、結城紬や本市のPRを行う。 ③結城紬各団体等の活動に対して補助金を交付する。 ④着物保管用桐たんす購入			①結城紬機織り実演事業及び結城紬きもの着心地体験事業 ②各種イベントへ参加し、結城紬着心地体験を通じて、結城紬や本市のPRを行う。 ③結城紬各団体等の活動に対して補助金を交付する。			①結城紬機織り実演事業及び結城紬きもの着心地体験事業 ②各種イベントへ参加し、結城紬着心地体験を通じて、結城紬や本市のPRを行う。 ③結城紬各団体等の活動に対して補助金を交付する。							
■事業費													
				R04年度		R05年度							
財源内訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	5,000	5,000						
	一		般	財	源	13,443	11,633						
歳入計（千円）				18,443		16,633							
歳出内訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）							
	07	報償費		150		201							
	10	需用費		120		117							
	11	役員費		469		865							
	12	委託料		3,946		3,811							
	13	使用料及び賃借料		16		40							
	14	工事請負費		65		0							
	15	原材料費		689		687							
	18	負担金補助及び交付金		7,988		5,912							
	20	貸付金		5,000		5,000							
歳出計（千円）（A）				18,443		16,633							
伸び率（％）						-9.81							
備考	総合計画93ページ 予算書139～140ページ												

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	結城紬機織り実演日数	日	目標	421.00	421.00	0.00
	観光物産センター及び結城市伝統工芸館		実績	421.00	0.00	0.00
	市所有結城紬きもの枚数	枚	目標	67.00	71.00	0.00
	貸出事業での活用枚数		実績	67.00	0.00	0.00
成果 指標	結城市伝統工芸館来館者数	人	目標	2,200.00	2,200.00	0.00
			実績	1,473.00	0.00	0.00
	補助団体数	件	目標	6.00	6.00	0.00
			実績	6.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	結城紬は世界に認められた伝統工芸品であり、本市の地域資源である。事業の必要性は高い
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	地域資源である結城紬を活用した事業を行政も一体となって実施する。
	手段の妥当性	A 妥当である	機織り実演やきもの貸出事業について、関連団体に委託している。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	事業の効果として現状維持にとどまっている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	広く一般市民・観光客に対する事業を行っている。 補助事業者については、受益者が限定されている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	結城紬の従事者や生産反数の減少はあるものの、大幅な減少ではなく微減となっている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	結城紬機織り実演については、成果物（反物）を本事業において着物に仕立て、貸出事業と連携を図っている。結城紬貸出事業は、認知度も高まり利用者は増加している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
事業評価を踏まえると一定レベルの評価はできる。結城紬機織り実演や着心地体験は、現在、市の事業として委託しており成果をあげている。民間での取組みも少しずつではあるが、進んできている。更なる結城紬の振興のため、結城紬に関わる人すべてが力を合わせていく必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
結城紬関連組合と関連団体、行政が連携を図り、より効果的な事業を行っていく必要がある。			
結城紬関連組合においては、各組合が連携し独自に実行委員会組織を形成し、国の補助金を活用している。今後も、自走に向けて行政として支援をしていく必要がある。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容 結城紬は代表する伝統工芸品であり、貴重な観光資源となっている。機織り実演やきもの貸出をしていることで、興味を持つ観光客が少しずつ増えている。しかし、産業としては、生産反数の減少・後継者不足など順調とは言えない状況にあることから、効果的な支援の必要がある。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり</p>